短期集中予防型サービスC　モデル事業

令和元年9月～12月に、防府市の委託により、短期集中予防型サービスCのモデル事業を行いました。

【事業の目的】

要支援者や事業対象者が、元の暮らしを取り戻し、「幸せます状態」に戻れるように支援します。
＊幸せます状態:フォーマルサービスの利用がなくても、通いの場や地域の方とのつながりにより、やりたいことが選べる状態。

【サービス内容】

週1回　2時間程度。
全部12回の通所プログラムと1回の訪問プログラム(必要時)により
①生活の不安を取り除く、②セルフマネジメントを可能にする、③地域資源につなぐ手伝いをするというサービスです。
セルフマネジメントを可能にするために、ポジティブフフィードバックによる面談を柱とします。身体にさわらず、特別な器具も必要ではありません。

【スケジュール】

到着後　　バイタルチェック・他者交流

血圧測定を自分で行うことから
セルフマネジメントはスタート

利用者さん同士の励ましは
セルフマネジメントの重要ポイント

13:30　　集団での筋力トレーニング・ストレッチ

集団でのトレーニングでお互いのやる気をアップ！

13:45　　それぞれが過ごし方をマネジメントしたプログラムを行います。

面談

一週間の過ごし方を振り返り、できたところをポジティブにフィードバック！小さな「できた」の積み重ねが自信につながる！

面談のコツが詰まった「はくあい短期集中面談マニュアル」はこちら

運動機能向上プログラム
壁に掲示した体操を覚えて、通所で、
自宅で行えるようにする！
運動習慣を身につけるという視点。

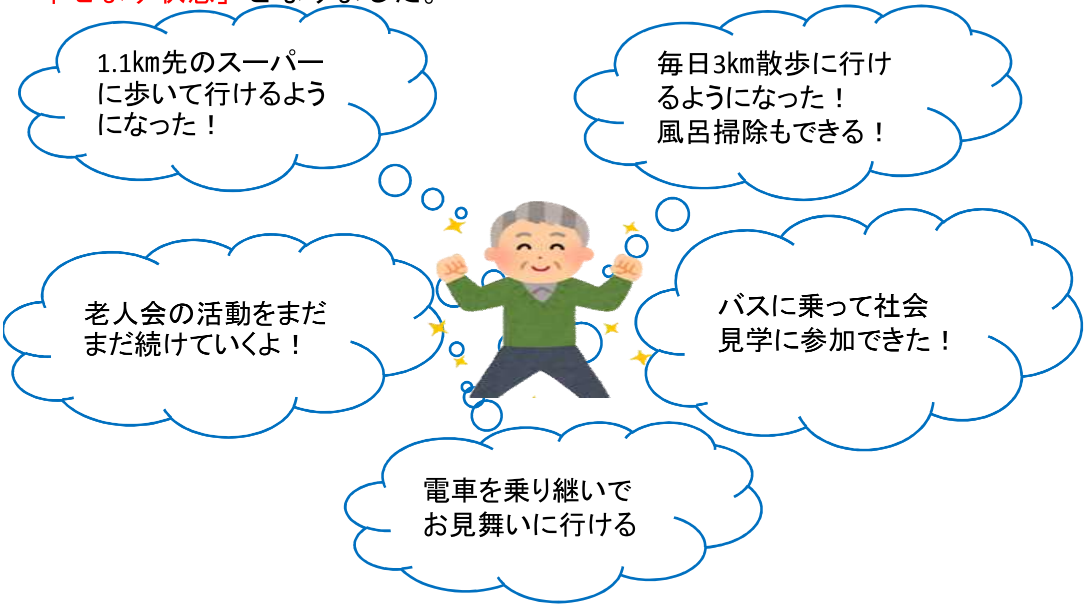
口腔機能向上プログラム
口腔・嚥下の状況に合わせて自主トレーニングやセルフケア方法を提案し、セルフマネジメントができる事を目指します。

栄養改善プログラム
体づくり、健康づくりに必要な食品が取れるように面談によりセルフマネジメントを行います。

IADLプログラム
買い物、掃除…生活に必要な動作を具体的な目標を立てて実現するための練習を行います。

15:15　　集団体操（脳トレ・社会参加プログラム）

住民主体の通いの場の運営が自信をもってできるために…体操の進行も一緒に行います。

１５：３０　送迎

【モデル事業の結果】
8人中7人が、訪問介護、通所介護のフォーマルサービスの利用なしでも生活できる「幸せます状態」となりました。